

健康で心豊かな地域づくり

# たかす

第205号

令和5年1月28日



鷹巣自治会

## SDGs活動って

### 何？(三)

金本 勉

「エスデージーズ」を簡単に言うと、二〇一五年に国際連合サミットで採択された『持続可能な開発のための二〇三〇アジェンダ』に定められた一七の目標が『SDGs (持続可能な開発目標)』なのです。

それは、世界のすべての人が取り残されずに、安全安心な人間らしい暮らしができること、地球に住み続けられるよう環境問題も解決・改善すること、を指しております。すなわち、人類がこの地球で暮らし続けていくために、二〇三〇年までに達成すべき目標を示しているのです。

その目標とは、次の十七項目から成っております。

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロにしよう
3. すべての人に健康と福祉を

4. 質の高い教育をみんなに
5. 男女の性の平等を実現
6. 安全な水とトイレの実現
7. クリーンなエネルギーを
8. 働きがいも経済成長も
9. 作業と技術革新の基盤を
10. 人や国の不平等の解消
11. 住み続けられるまちづくり
12. 作る責任、使う責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. 協力して目標の達成を

お分かりいただけただけでしょうか？ 次の機会に十七の目標の中身についてお知らせいたします。



## 自治会告知板

鷹巣自治会長 春名 省吾

### 卯年は「飛躍」や「向上」の年

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、かなり窮屈な生活を強いられる中ワクワクン接種が功を奏し、一旦収束したかに思われましたが、年明けとともに「オミクロン株とインフルエンザ」が蔓延し始まり、皆様におかれましては引き続き感染予防対策を取って頂きます様お願い致します。

又、このようなコロナ禍で自治会行事、イベント等などの活動の多くが思うように進まずに縮小しなければならなかったりと、もどかしい一年でした。

二〇二三年の「卯年」は今までの数年間から大きく「飛躍」し私たちの生活が大きく「向上」するように何とか知恵を絞り工夫して「成長」していきたいと感じます。

皆さんも出来るだけ何かしらの行事やイベントなどに参加して頂き近所の人とかかわりを持ち、コロナ禍から回復したときのいつもの通りの元気な自治会の再開の為に備えを継続してもらえたらと感じます。

まだまだ寒い日が続きます、この度の十年に一度の最強寒波によ

る積雪には驚かされたのではないのでしょうか、被害があった方にはお見舞い申し上げます。また雪掻きで疲れが出た方もおられると思いますが無理のないよう、お身体をご自愛下さいますようお願い致します。



## 活性化委員会便り

活性化委員長 村上 廣恭

### 新年度を迎えるにあたって

新年を迎え、今年こそ良い年になるよう家族そろって初詣に参拝致しました。

今年こそコロナ禍を飛び出せる年にしたいものです。

さて閉校以来十数年の月日は長

いようでもありますが、あまりにも早く過ぎてしまいました。本来の用途から少し目的を変えての使用となれば設備の新設から改良、改築を重ね今日にいたっています。そして最後に残った大仕事が体育館の雨漏り修繕になります。何とか早期完了を図り利用者の皆さんに安心していただきたいと思えます。過日、春名自治会長、事務局の藤原君と三人で市民局長と面談の上、計画書等提出致しました。

新年度からは例年のごとく自治会役員も半数は入れ替わり新体制となり活動されると思いますが、活性化委員会も従来の取り組みを改め内容の分担と若返りを図り、コロナ対応解除に合わせた対応に変えていきたいと思えます。

まずは学校を中心とした運営は現在協力隊として頑張ってくれている廣重さんが、春より任期満了を迎え鷹巣住民の一人として、一方施設運営の統括マネージャーとして活動してくれれます。その半年後はもう一人の協力隊員の林君が任期満了を迎え同じく鷹巣住民として学校運営を手伝いながら、村内五か所のキャンプ場運営やドローン教室を開設し自立を図ってきたいとの事ですので、地元としても遠方より来てくれた若い住民の後押しと応援をよろしくお願ひします。

また閉校以来活動してきた活性化委員会はどうするということになります。もともと立ち上げの最大の目的は自治会長以下の役員会の下に位置して、従来自治会行事の多すぎる活動を助ける、肩の荷を軽くする意味で結成された組織です。このことで自治会長直々の指揮は村の三大行事をやつてほしいということになりました。(盆踊り、秋祭り、ふるさとの集い) 対して各種団体と共に活性化委員会も手伝う様な形で行ってききました。

悲しいことに三年前よりのコロナ禍のため人の集まることが全て禁止され、その間に周りの環境もかなり荒れてきた様に思います。

五月頃からはコロナ以前の姿に戻っていくのではと思いますが、現状でも来訪者は増え続けています。澄んだ空気、水、晴れた夜空、自然の声・音を求めてきてくれる。

ただ今は少子少人数、高齢化も激しく、自分でも気になります。草だらけの田畑、柳に引っかけたナイロン袋・スチロール、里道の四・五年を経た草木等々。

これらの掃除は活性化の仕事ととらえて、財力は無いに等しいが知力、体力プラス縁の下の力というべき心ある方々のお力を借り受けて活力ある鷹巣をまず創り出すことが活性化委員会の仕事ではな

いでしようか。

仕事内容については、まだまだ煮詰まっていけないところも多いわけですが、問題が出ることは進歩の足掛かりと考え対処していきたい。若い二本の草木が大木となるまでは。



キャンプの中で

たかす東小学校 藤原 誠

年末二十八日から正月過ぎた九日まで宿泊のお客様が続きました。三人で接客していますが、交代で休みを取ることができました。

年末に餅つきがしたいご家族がありましたので、白などあれこれ運んで、米を洗って、あんど、黒豆、えび、きなこ、青のりを買ってきて楽しくできました。

大晦日は教室二組、テント六組の年越しでしたが、希望される三家族の方を福海寺の鐘つきにご案内しました。ご住職も大歓迎で、鐘つき前に本堂にあらがらせていただきました。観音堂にお参りしてから鐘つき、皆さん静かに手を合わせておられました。

一月七日も餅つきで、六升ついて、あたたかい内に食べて、後は十三人で分けてお土産にして喜ばれたそうです。いろんな餅が入っ

ていたのきれいで良かったと思います。八日は雪あそびと書初めと散歩。九日はどんど。竹の割れる大きな音がして、びっくり面白がっていました。

たかす散歩をしておられる家族がありました。冬枯れの景色でも都会の人たちはめずらしくてどきどきするそうです。ほんとは四月の花の季節に来て欲しいですね。



この頃の子育てでゲームやスマホばかりさわって外あそびをしない子が問題になってい

ますが、鷹巣に泊まりに来られる家族の親たちは、その問題を離れて、自然の中で子どもを自由にして、時には役割を持たせて、家族の時間を大切に、しっかりとした子育てをされているなあと感心して見えています。鷹巣の子どもたちも年に一回でもキャンプ、やりたいですね。用具は全部あります。やりましょう。



地域おこし協力隊です

地域おこし協力隊 廣重 希美

春のような陽気に雪解けを見ていたかと思えば、大寒波によって一気に冬を思い出すことになりました。

みなさまいかがお過ごしですか。雪かきに時間をつかうことも苦に思わず、余裕をもてる暮らしかたがしたいなあと考えながらいつかはとける雪を眺めています。

さて、1月も終わりをむかえようとしている今日この頃ですが、3月5日(日)の協力隊報告会のお知らせをさせていただきます。

私は鷹巣での暮らし、出会い、チャレンジ、などこの3年間の集大成と4年目のはじまりを報告します。

いままでは平日の夜にひっそりと行っていたのですが、今年度は日曜日に企画しています。

閉園した幼稚園の利活用・農作物のブランド化・観光協会での活動など他の隊員の活動にも出合うことで、みなさまの暮らしの中に新しいワクワクの種がみつかるかも、！と思えます。お時間合う方がいればぜひお越しください。

2月もばりばり動き回って、準備運動をして春をむかえるつもりなので、4月からもこんなひろしげをよろしく願っています。

地域おこし協力隊 林 拓真  
みなさんこんにちは、協力隊の林です。  
年が明けて、今年の9月末で、協力隊の任期が終わります。

任期終了後も鷹巣で暮らしていけるように、生業づくりを頑張っていこうと思っています。

これからもよろしくお願います。



文芸欄

(令和四年十二月)

炒りあげし零余子や匂の香を放ち 金本 勉

冬空へ磐座天を突く構へ 森井三千代

吊るし掃軒のすだれに朝日さす 金本百々子

米三粒陽射し伸びたり寒の入り 金本 勉

丸餅をまるめる夫は左利き 森井三千代

雪降りて一夜に変わる庭景色 金本百々子

雪降りて一夜に変わる庭景色 金本百々子

雪降りて一夜に変わる庭景色 金本百々子

